



# みさきっ子

第30号  
喜屋武小学校学校新聞  
発行者：校長伊川治美

## 3匹のウサギ「フォーク」「プリン」「ブラウン」と命名 飼育委員が世話「元気に成長」

先月1匹の子ウサギが病気でなくなり、全児童が寂しい思いをしていたところ先々日、米須幼稚園から3匹の子ウサギを頂き、飼育委員(仲西史也・仲間春翔・北谷朋輝)で大切に育てています。担当の大城栄教諭の協力もあって、順調に成長しています。時々、3匹のウサギは図書室前で披露され全児童が「カワイイ」と歓声をあげています。時々ウサギに触れ生きものであることを実感しています。



委員会の皆さんは、子ウサギが安心して住めるようにと、隠れ箱や網を修繕し環境を整えました。また、朝の活動等では、毎日、清潔さを保つため小屋の清掃を行っています。さらに動物愛護にもつながり、命の大切さを感じる機会となっています。今後、大切に育てていくことでしょう。

## -落語と紙工芸を楽しむ- 落語家「春雨や雷蔵」氏来校

本校になぜ落語家がやってきたの?と疑問を感じるかもしれません。実は以前本校に勤務された徳本教諭が、那覇空港のロービーでひよつとしたことから尾藤さん(岐阜県下呂温泉で民宿経営)との出会いが切っ掛けとなり現在に至っています。



尾藤さんからは、卒業生の名前の頭文字を色紙に書いてもらっています。また、本校は、お礼として4年生が総合学習で体験する黒砂糖をお送りし喜ばれています。以上の交流から公演することとなりました。尾藤(芸名:可多家小里笑)によ

### <雷蔵師匠の落語>



### <紙工芸をする尾藤氏>

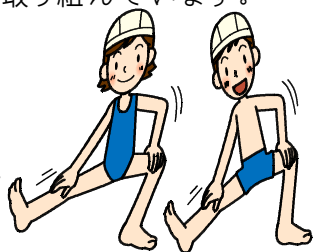
る紙工芸と春雨や雷蔵師匠による「落語」を全校児童で6月2日(火)に楽しみました。前座として6年生数名による出し物を披露。その後、可多家小里笑さんによる「紙工芸」づくりが始まり、一枚の紙とはさみで手際よく造形の美しさを作り出していました。ちなみに「ミッキーマウス」、「プーサン」「キツツキ」「3匹ノ魚」「骸骨」等を素早く切って見事な形に仕上げることに感動していました。最後に、「紙工芸は、手の器用さではなく、好奇心と観察力が大切です」と話していました。次に春雨や雷蔵さんが登場し、落語の基本であるセンスと手ぬぐいの二つを利用して「たばこを吸う」「文字を書く」「そろばん」「舟を漕ぐ」「戸をたたく」などの動作を披露。小話では、玉那覇翼(4年)さんと仲西史也(6年)さんが師匠から教わり演技をみせ笑いを誘いました。最後に春雨や雷蔵師匠による「若手医者患者(若い女性)への対応についての「落語」を一席披露しました。児童の皆さんは、落ちのある場面では大きな笑いがありました。質問コーナーでもたくさんの質問を行い、尾藤さんや春雨や雷蔵師匠も丁寧に答えていました。お礼として最後に北原白秋の詩「まつり」を全員で音読し感謝の意を表しました。

## プール開始 スイスイ泳げるように! 5/25から7/9まで

プール開きが5月25日(月)に開かれ、島袋教頭先生の祈願のもと、5・6年生が初泳ぎを行いました。プールは、5月25日から7月9日の期間実施され、1・2年生は、10時間、3・4・5・6年生は12時間、体育の時間に行われています。児童は、プールがある日を楽しみに日々、泳げるよう練習に取り組んでいます。

高学年の皆さんは、泳げる「距離の目標」定め、達成できるように頑張ってください。

健康チェックを念入りに行い、プールに入るようにしています。



## 5年生離島体験交流から元気に帰校 ~ 交流学習・貝殻で風鈴づくりを体験 ~

県離島体験交流促進事業を受け(抽選)、本校5年生8名が6月10日(水)、水納島(本部町渡久地港より)体験学習(二泊三日)を終え帰校しました。現地では、島の散策や綺麗な、砂浜が広がる海岸で漂着物調査やサンゴの風鈴づくりを楽しみました。また、水納小学校の皆さんとレク交流やスポーツ交流を通して仲間づくりを行いました。一連の離島体験を終えた児童からは、「綺麗な砂浜で泳げたこと・魚が見えたこと」など、体験で感じたことを環境ポスターにまとめ日程を閉じました。



### <食事風景>



### <透き通る海で泳ぐ5年生>



# 校内研修会 - 文教大学石井勉教授を招き 天久勤子教諭が授業



文教大学の石井勉教授を招へいた第2回の校内研修が6月12日(金)5・6校時に行われました。今年度は、本校の研修テーマ「進んで考え、自らの考えを表現できる児童の育成」です。特に算数の授業を通して、「考える力を育て、その力をいかし表現できるか」を大きな課題として校内研修が取り組まれています。全教諭が授業公開を行い互いに意見交換をする場でもあり、「授業力の向上」へと結びつけています。第2回目は、4年担任の天久勤子教諭が「割り算の筆算(1)ーわる数が1けた」の単元内容で授業を展開しました。授業では「めあて」をもたせ、筆算の仕方をそれぞれが考え、グループでの話し合いをもとに発表し検討したりしました。



<石井勉氏>



<授業の光景>

研究会では、授業者の反省、教諭からの質問・意見交換及び文教大学石井勉准教授からの助言で閉会をしました。次回の研修授業は、7月3日(金)赤嶺秀幸教諭が授業を実施します。

本校では教師が意欲的に研修・研究(教材研究)に努め、児童一人一人が「勉強が楽しい・分かる喜び」を感じ取ってくれるよう自己研鑽に励んでいます。

### \*保護者のご理解とご協力

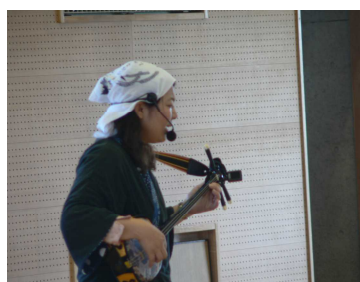
本校では、全教師が研究授業を実施する予定です。その際、授業をする学年を除き給食・清掃後、帰宅することになっています。ご家庭での対応に対しご理解とご協力をお願いいたします。なお、研究授業を実施する場合は、前もって文書を配布いたします。

## 日曜授業参観と平和集会 千葉梨菜さんが「平和への願い」を

日曜授業参観と平和集会が6月14日(金)に行われ9割以上の保護者が参加しました。講師にバスガイドであり保護者でも千葉梨菜さんを招き「平和について」語って頂きました。千葉梨菜さん演じる「おばあ」の話から70年前の戦争のようすが浮き彫りにされ、当時の苦しい生活や防空壕の恐怖心、生きたくても生きられない人々の苦しみが鮮明に描きだされ、会場全体が静まり、考え深い状態になりました。千葉さんの演技が勝るなか「平和の尊さ」「命どう宝」を感じ取る機会となった講演でした。最後に、千葉さんは、平和の世界をつくるために身近なことから始めてみましょう」とメッセージを贈りました。

平和集会では、全児童で「糸満市平和都市宣言文」を音読。「月桃」の歌を高らかに歌い「平和を希求」しました。

午後は「親子ミニバレーボール大会」では、親子編成8チームで熱戦を繰り広げました。優勝は、「ブーゲンビリアチーム」でした。<千葉梨菜さん>→



## 子どもが育つ魔法の言葉より

ドロシー・ロー・ノルト著

レイチャル・ハリス

「親が他人を羨(うらや)んでばかりいると、

子どもも人を羨むようになる」

嫉妬は、英語では「緑色の目をする」と比喩的に表現されます。まさに、そのとおりだと言えるでしょう。嫉妬は、わたしたちがどんな目で他人や物事を見るかによって生まれる感情です。嫉妬深い目には、隣の芝

は青く見え、他人の車は上等に、家は立派に見えます。本当は、自分の庭の芝生は青く、車もいえも申し分ないとしてもです。

世の中には、確かに、自分より恵まれている人は大勢います。しかし、自分より恵まれない人も大勢いるのです。この事実のどちらかに目を向けるか、それは、わたしたち次第です。もし、親がいつも自分と他人とを引き比べて不満に思い、他人を羨んでばかりいたらどうでしょうか。子どもも、そんな親の影響を受けてしまいます。わたしたちは、子どものためにも、緑色の目の怪物にならないように心がけるべきなのです。子どもが、己の幸福を幸福とし、他人を妬んだり嫉んだりすることがないように、親は教えなくてはなりません。

糸満市平和都市宣言  
 まちには人々の笑顔がある  
 青い海には魚たちが舞い  
 ひかりの陸には作物がある  
 ここは私たちのふるさと  
 海のかなたの国々にも  
 同じ地球の人々のくらしがある  
 意地ぬんじらあ手引き  
 手ぬんじらあ意地引き  
 私たちはみ霊の眠る  
 みどり山河を愛し命の尊さ  
 命どう宝を命の誓う  
 いっまでも伝えていくと  
 そつてくらしと自由を守り  
 沖繩の日本と世界の  
 永遠の平和を  
 この民々の声を  
 平和都市 糸満市の宣言とする

**お知らせ** 親子PTA作業28日(日)です。ご協力を!!

## 6月行事

日	曜	行事予定
12	金	5年生離島体験帰校、校内研修会
14	日	日曜授業参観・平和集会、学校評議員会
15	月	振り替え休日
16	火	職朝 読み聞かせ
19	金	不審者避難訓練・職員会議
21	日	喜屋武ハーリー
22	月	PTA読み聞かせ・下校パトロール
23	火	慰霊の日
25	木	スキルアップ
26	金	校内研究会
28	日	親子PTA作業